

## 中間支援活動助成(基本)事業 実績報告

団体名	(認定)ソーシャルデザインセンター淡路	代表者名	(職名) 理事長	(氏名) 木田 薫
事業名	SODA地域応援事業2025			

### < 事業実施実績 >

	相談業務 延べ回数/団体数	ネットワークの構築 ・情報提供 件数	人材育成 (講座開設等) 延べ参加人数/回数	書類作成指導 件数	その他 (調査研究等) 件数
R6 実績	21回 / 11件	3件	236人 / 2回	0件	1件
R7 計画	5回 / 3件	4件	200人 / 6回	1件	0件
R7 実績	4回 / 4件	3件	373人 / 6回	0件	2件

### < 効果と成果 >

基本事業の書類作成に関しては、まずは相談者の思いを聞き取る場所や基本的な手順についての説明をSODAで行い、具体的に書類作成に必要な情報を提供をした。その後書類作成をするようであればまた支援すると伝えている。SODAにも司法書士等の専門家メンバーがあり内容によって指導をお願いしている。ネットワークの構築についてはひきこもり等に関する活動の他、3年目となった空き家セミナーが地域づくりに貢献できているようだ。こうしたセミナーがきっかけとなり1年目の地域では行政と自治会で「食の街区」事業が始まり、昨年度の地域では自治会が「まちづくり会社」を設立するという。この事業は官民が一緒になって参画と協働を実現するために始めたが、その目的が形になった事例である。今年度は地元大学生たちのシェアハウスの事例から「農・漁業の後継者不足」問題の解決の糸口が見えた。実に地域をつなぐ中間支援らしい成果が上げられた。新聞エコバッグは社協やコープ、公民館から教えてほしいとの依頼があり、不登校の親の会がその指導に当たることで新たなネットワークができた。またこれを機に地元の公民館等との接点ができた。歴史講座は自分たちの地域の価値を理解しアイデンティティを育て地域資源の再発見と活用など未来に引き継ぐ行動につながる。

### < 今後の展望 >

空き家セミナーでいつも話題になるのは後継者問題。高齢化が進み地域の自治が存続できるかどうかという深刻な課題がある。また片方で大学生や若い移住者が微増しておりその人たちの動きが地域が動くきっかけにもなっている。今後もこうした空き家問題に焦点を当てながらも地域の自治の在り方などを住民と考える場を提供していきたい。次に文化、芸術を軸とした子育て支援ネットワーク作りだが、今年度は親子の絆を深めるファミリーコンサートに初めて取り組むことができた。3市の保育所、子育て支援課、子育て学習センター等にチラシを配布しながらネット漬けでタブレットや携帯で子育てをしている親が多い現状から派生する子育ての孤立化や子どもの成長を阻害しかねないことへの不安などの課題について話し合うことが

できた。今後は、こうした舞台鑑賞や絵本の読み聞かせなどの活動を通して子育て支援ネットワーク設立に向けて進めて行きたい。歴史講座では、地域住民の参加は当然ながら移住者の参加や若者の参加者があり、自分の地域を知りこれからの生活に活かしていきたい方々からも講座で南あわじ市の歴史を学び、誇りにいた。来年度は歴史を生かしたまちづくりをテーマに取り組みたい。

### <収支決算書>

#### (収入)

項 目	金 額 (円)
中間支援活動助成金	500,000
ファミリーコンサート事業収入等	405,059
合 計	905,059

#### (支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直 接 経 費	謝金	108,000	108,000
	旅費交通費	14,332	14,300
	委託料	137,000	126,000
	その他(印刷費等)	519,753	125,885
	小 計	779,085	374,185
	間接経費(一般管理費)	125,974	125,815
	合 計	905,059	500,000